

寺沢武一

非売品

大地よ
蒼くなれ





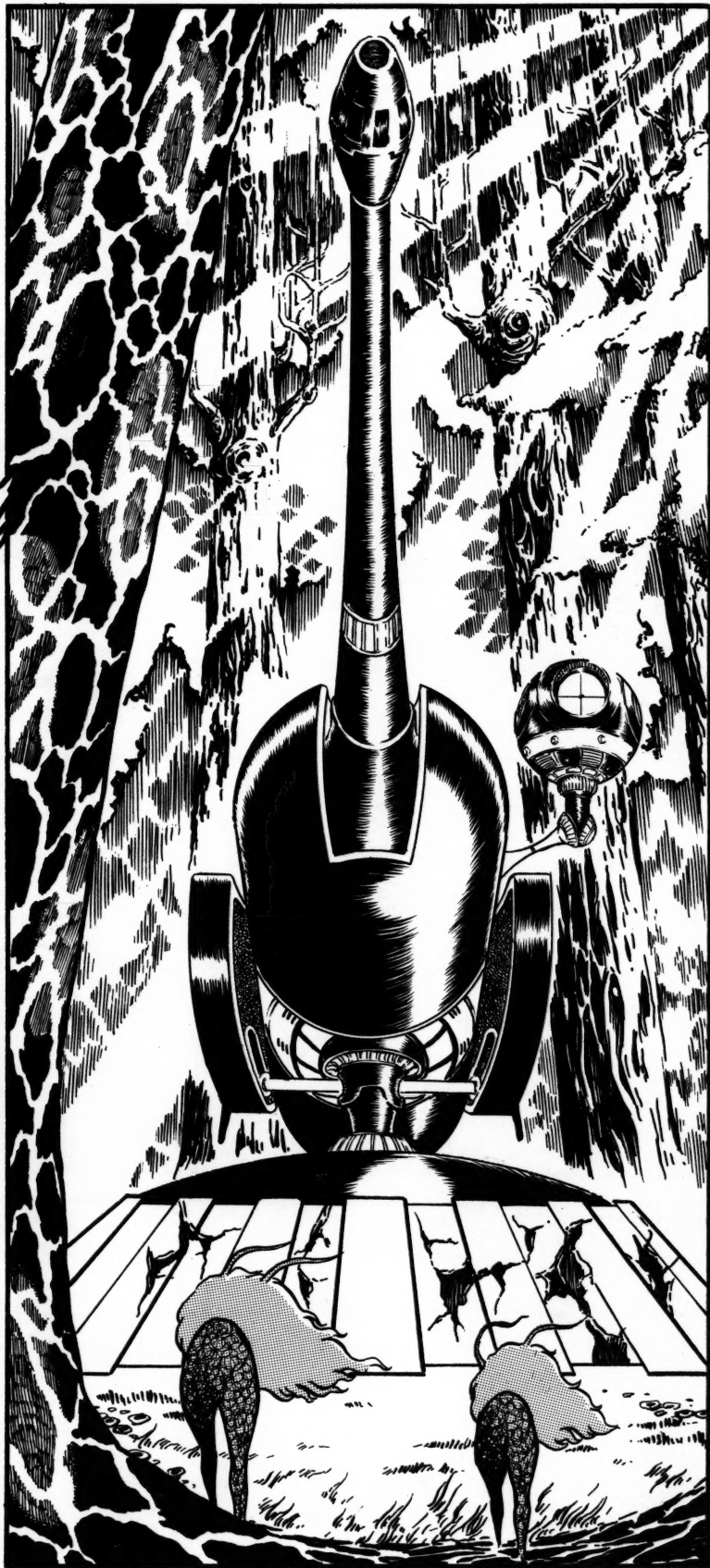
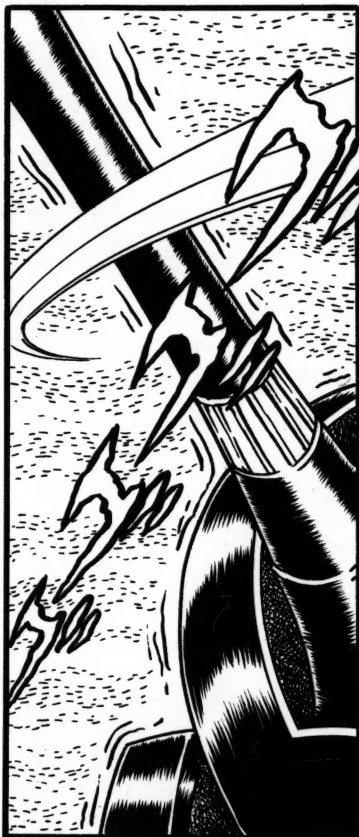


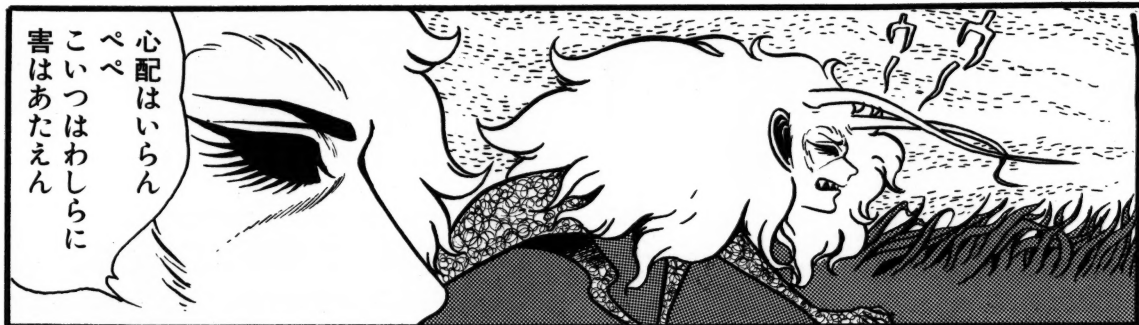


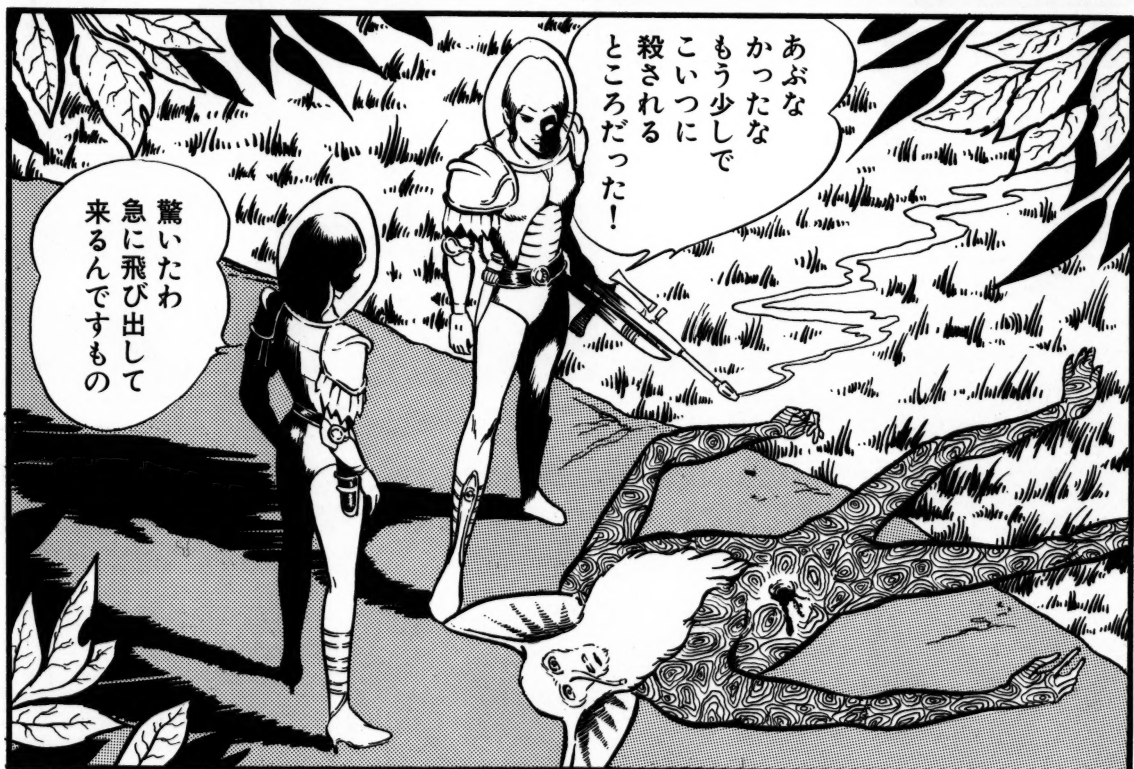
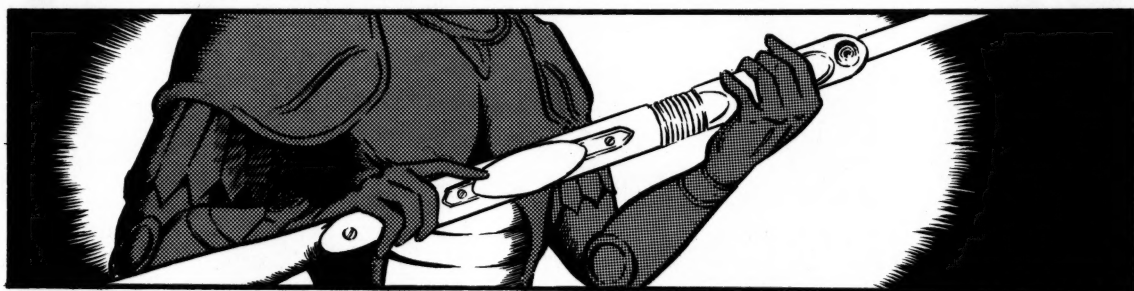
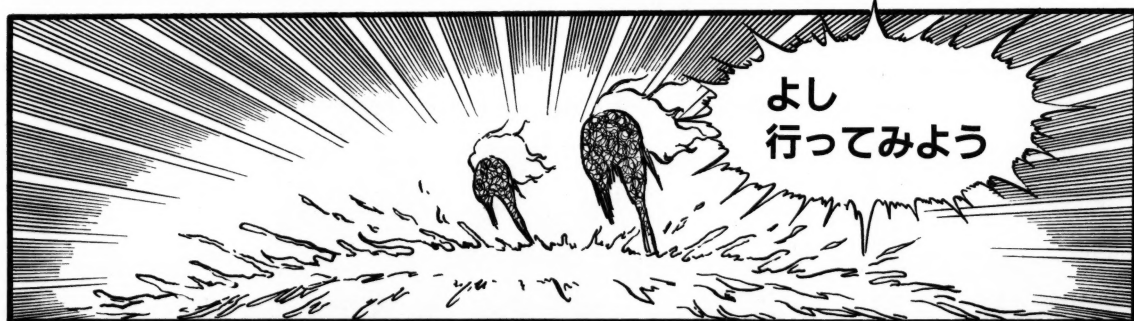


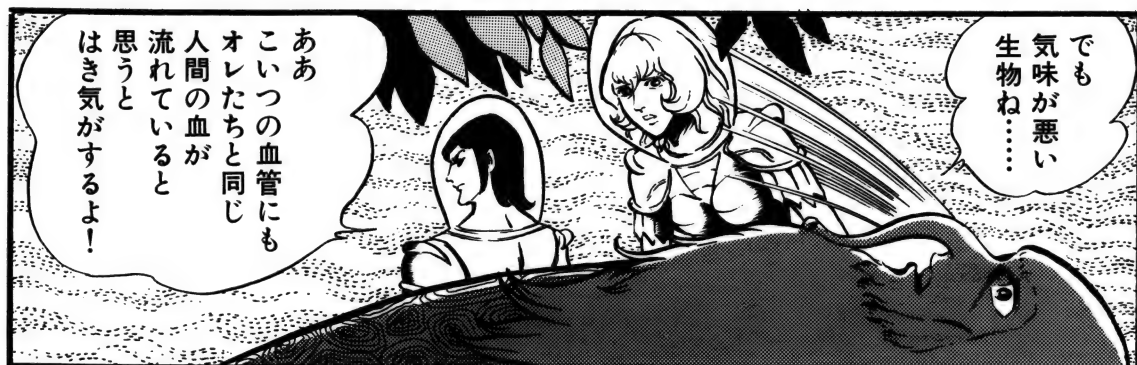
よせ
そいつは
喰えん
キノコだ
喰うと
笑い死に
するぞっ











でも
気味が悪い
生物ね……

ああ
こいつの血管にも
オレたちと同じ
人間の血が
流れていると
思うと
はき気がするよ!



それにしても
地表は
いつ来ても
ゾツとしない……

地表の
放射能量の
調査という
仕事があれば

こんな所は
来たくも
ないんだが……

サコン……



やはり
だめだったわね……



ああ……
地表の放射能量は
少しも
減っていない
それどころか
しだいに
増えつつある……

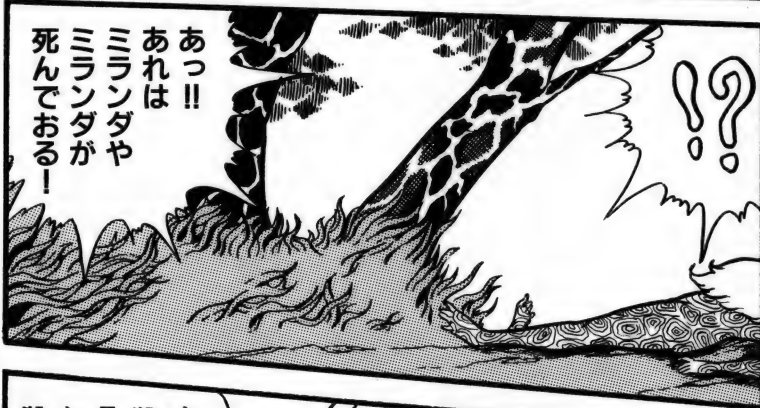
いよいよ
わたしたち……
ここから
去らなければ
ならないのね



じつちゃん
あいつら
何やねん!?

今日は
色々
変わったやつに
会ったけど
あの二ひきが
いちばん
変わっとるわ

あれか…
あれは
人間じゃよ

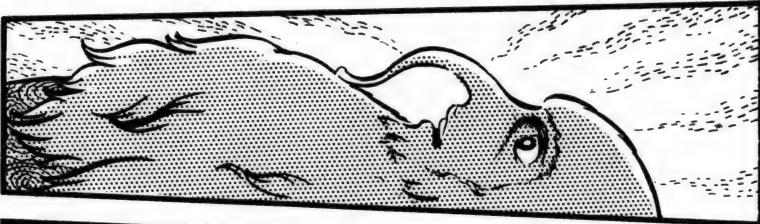


あつ!!
あれは
ミランダや
ミランダが
死んでおる!



こらっ
大声を
出すなっ!

あの人間が
殺ったんだろう
見つかる
わしらも
殺されるぞっ!



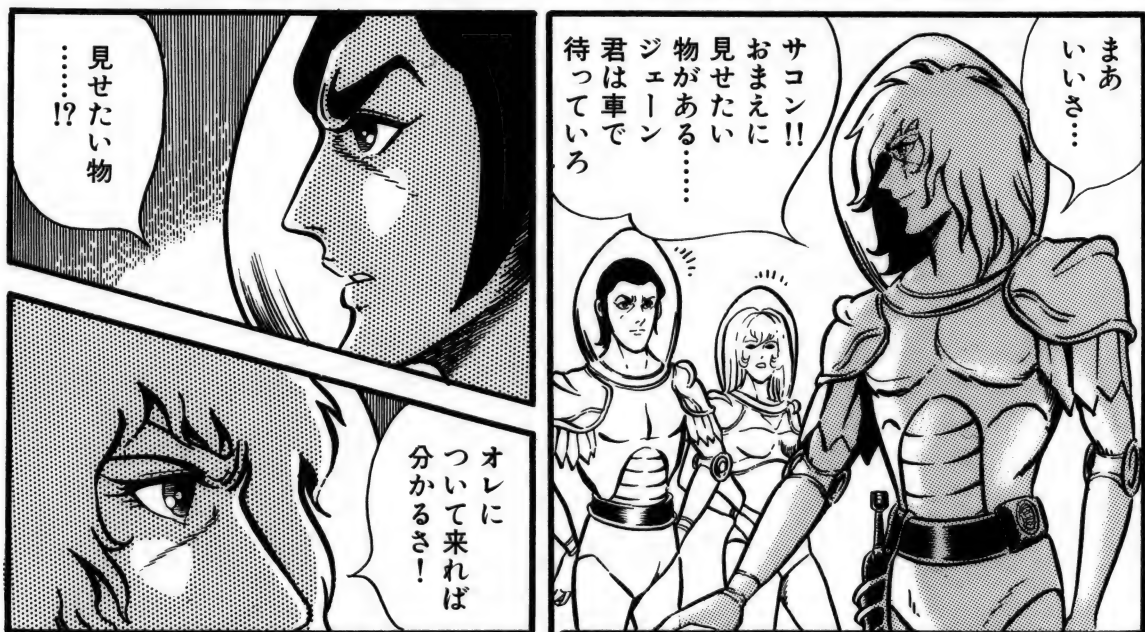
なぜや
なぜあいつら
ミランダを…

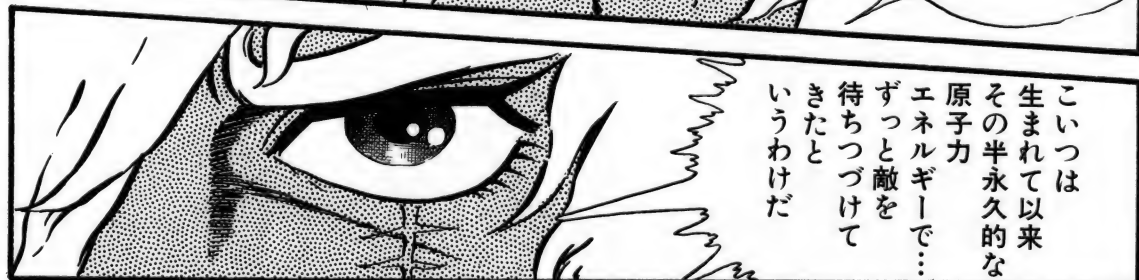
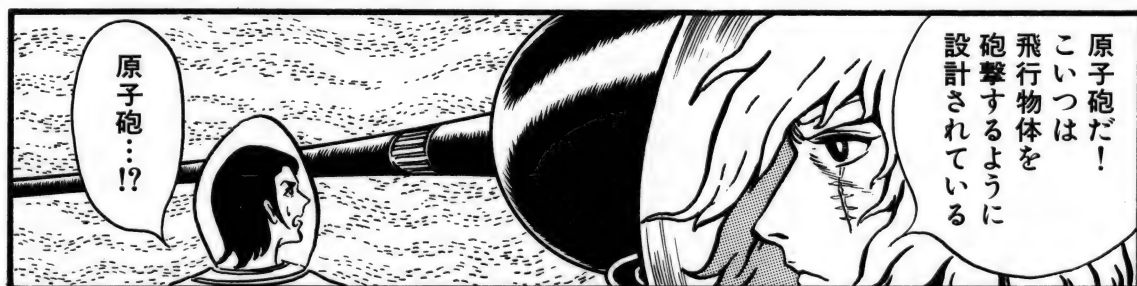
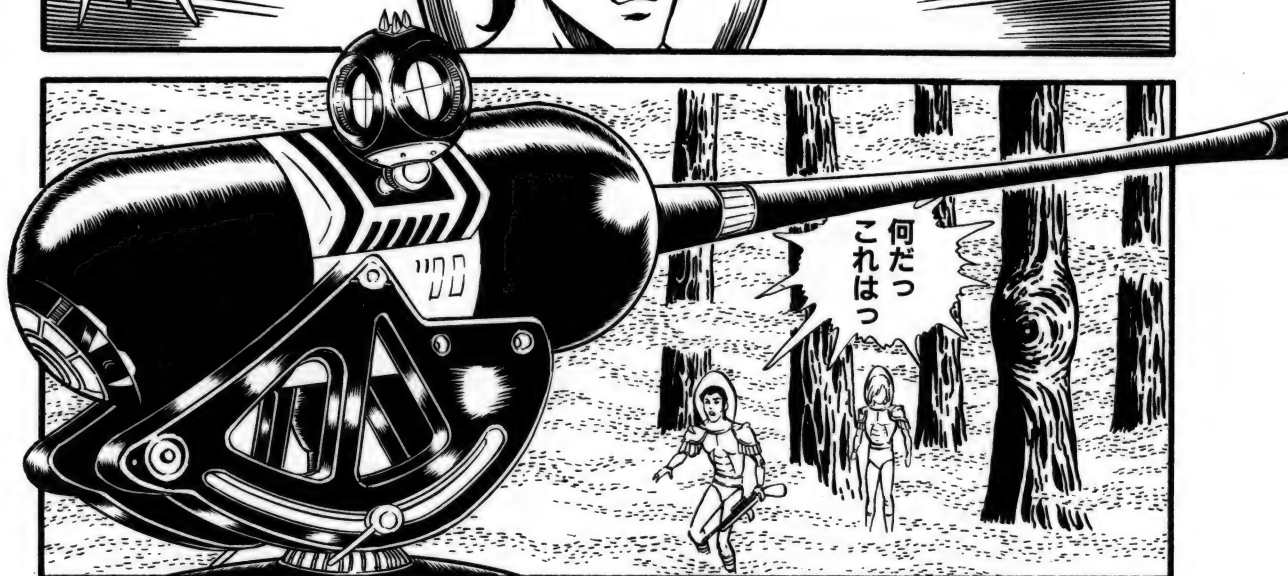
ミランダとわいは
友達なんや
ミランダは
木の实しか食べへん
やさしいやつ
やったのに



もつとも…
わしらの祖先も
あの者たちと
同じく
人間だったの
じゃがな

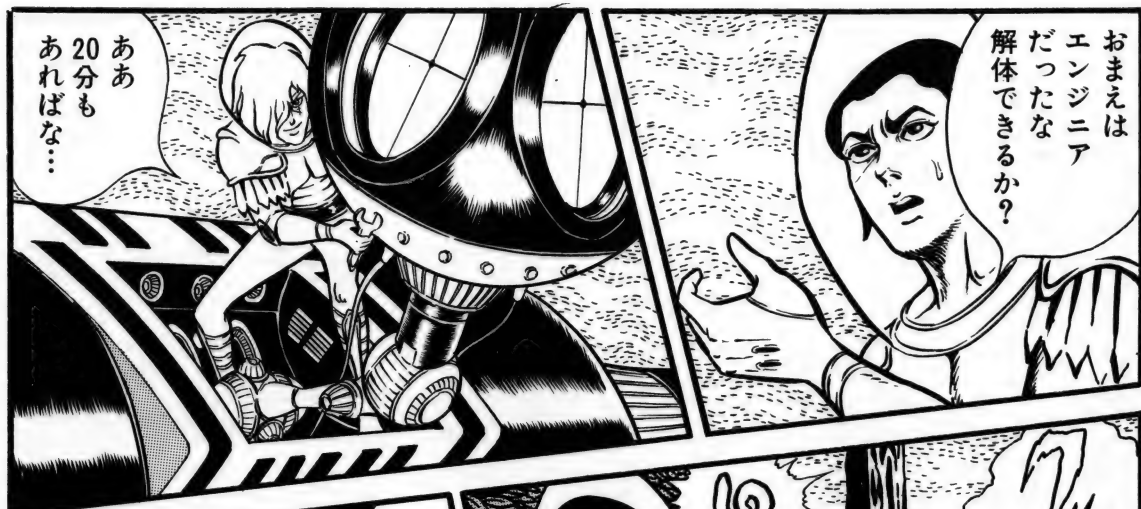
あいつらは
地下に住んで
おるのじゃが…
時々地上へ
ひよつこと
現れよる



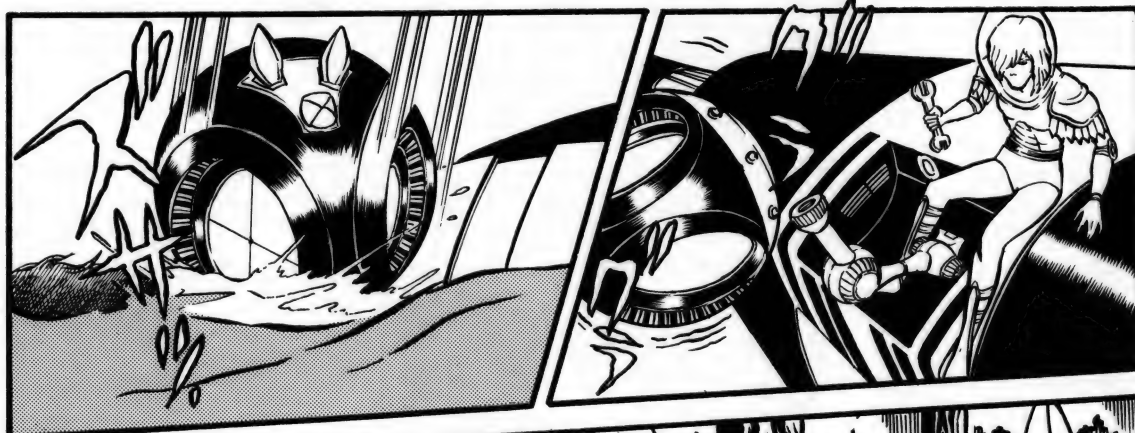


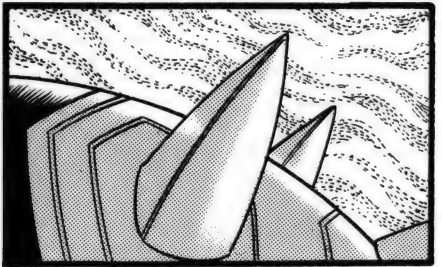
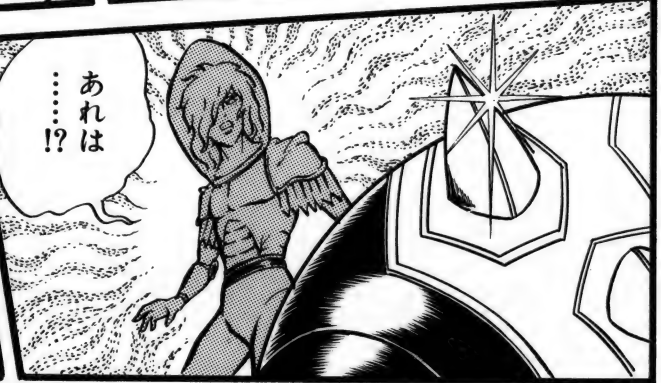
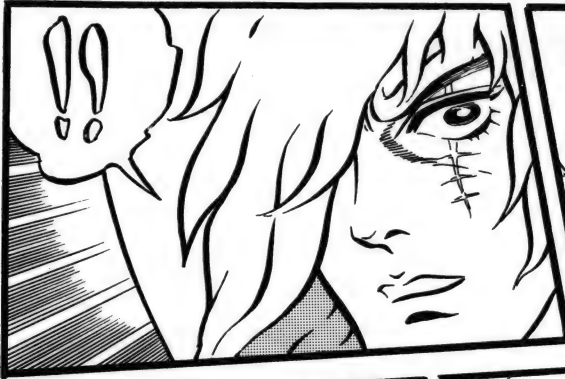
おまえは
エンジンア
だったな
解体できるか？

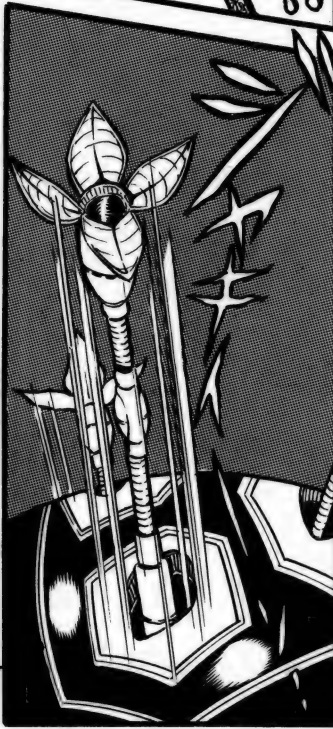
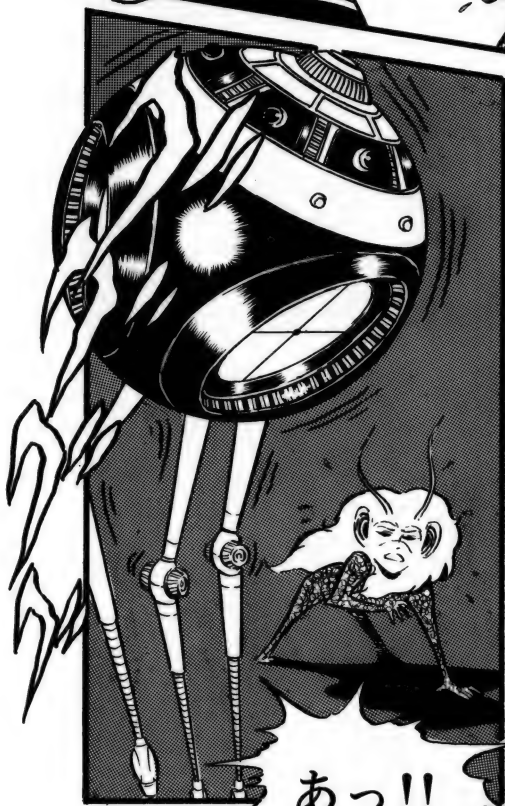
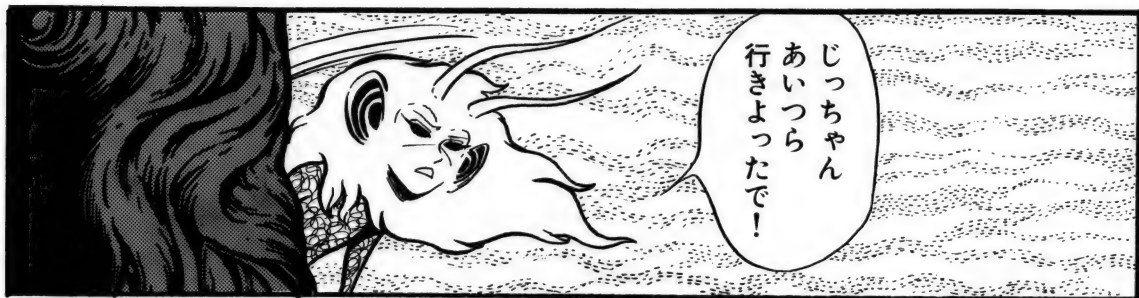
ああ
20分も
あればな…

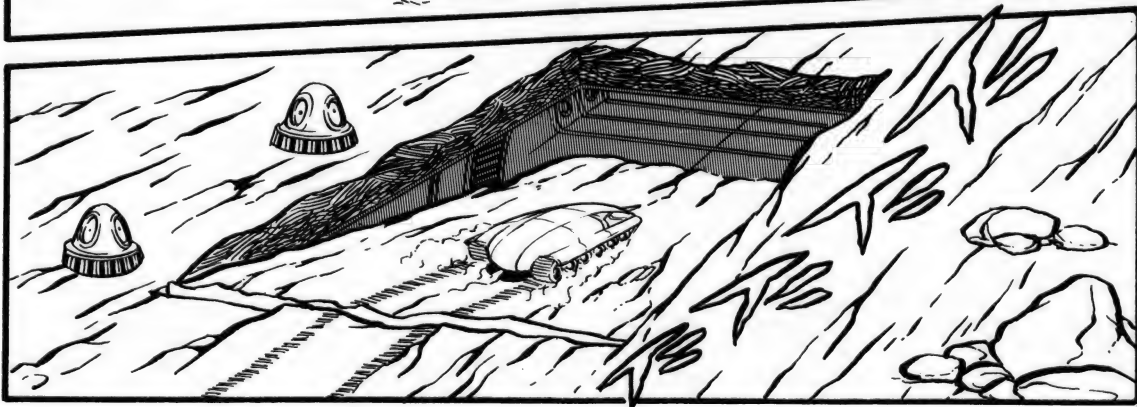
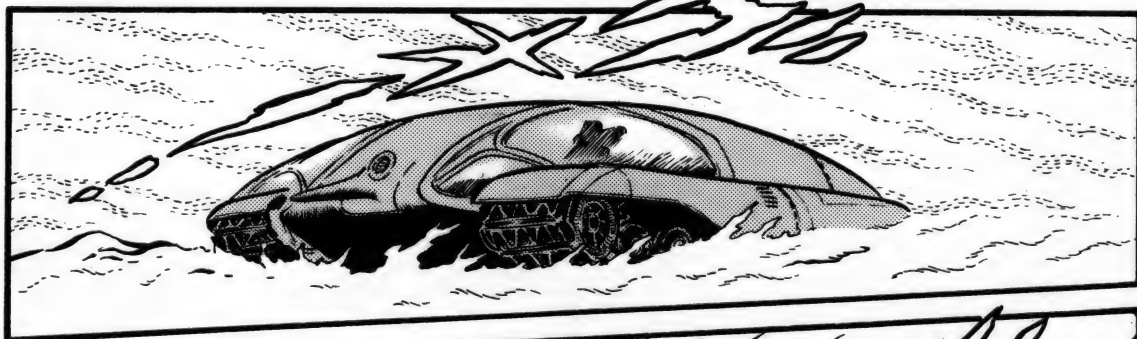
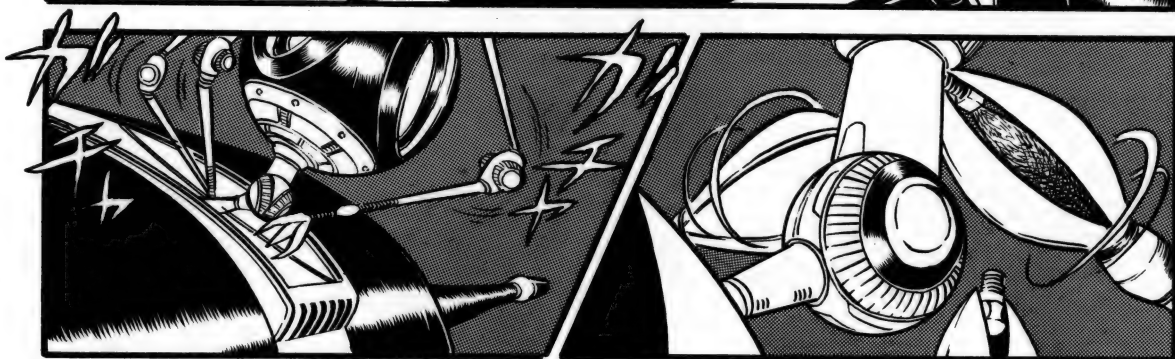
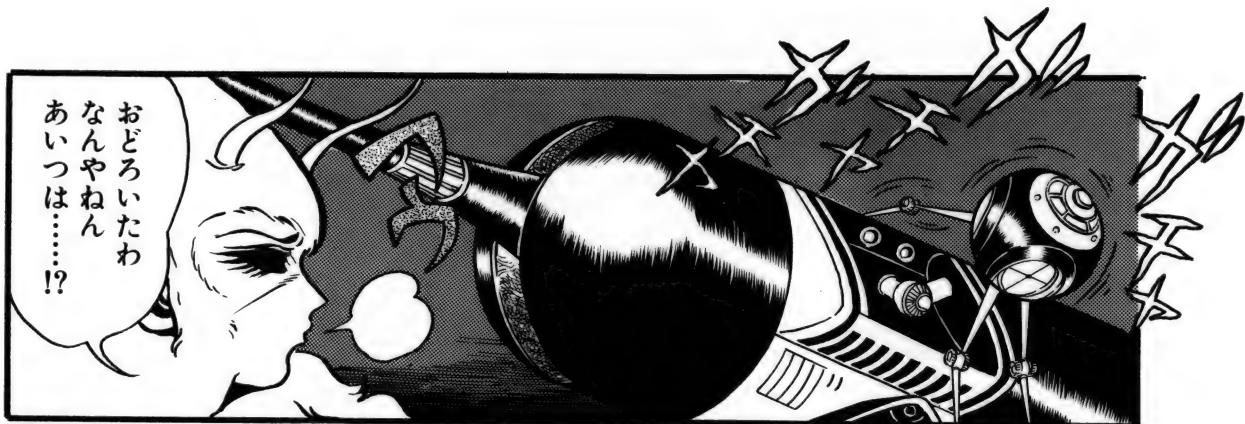


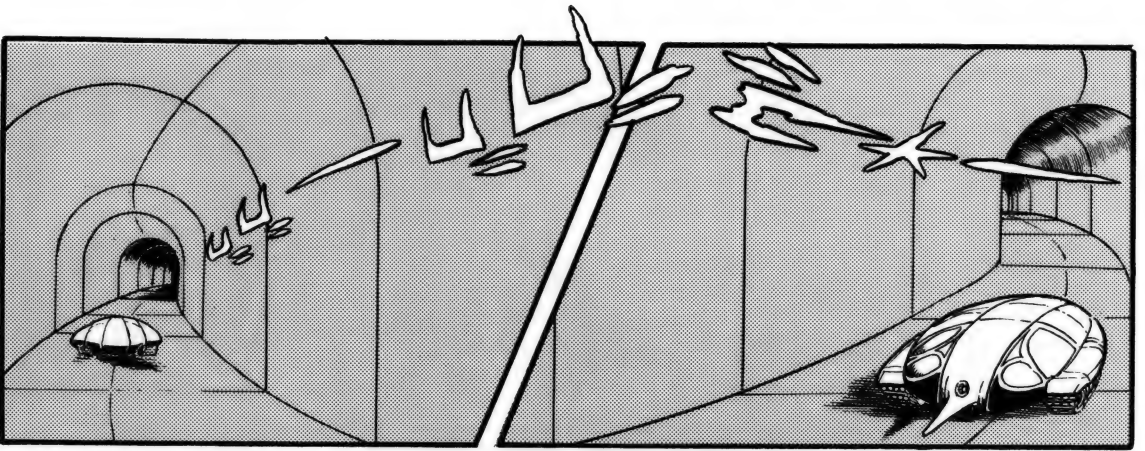








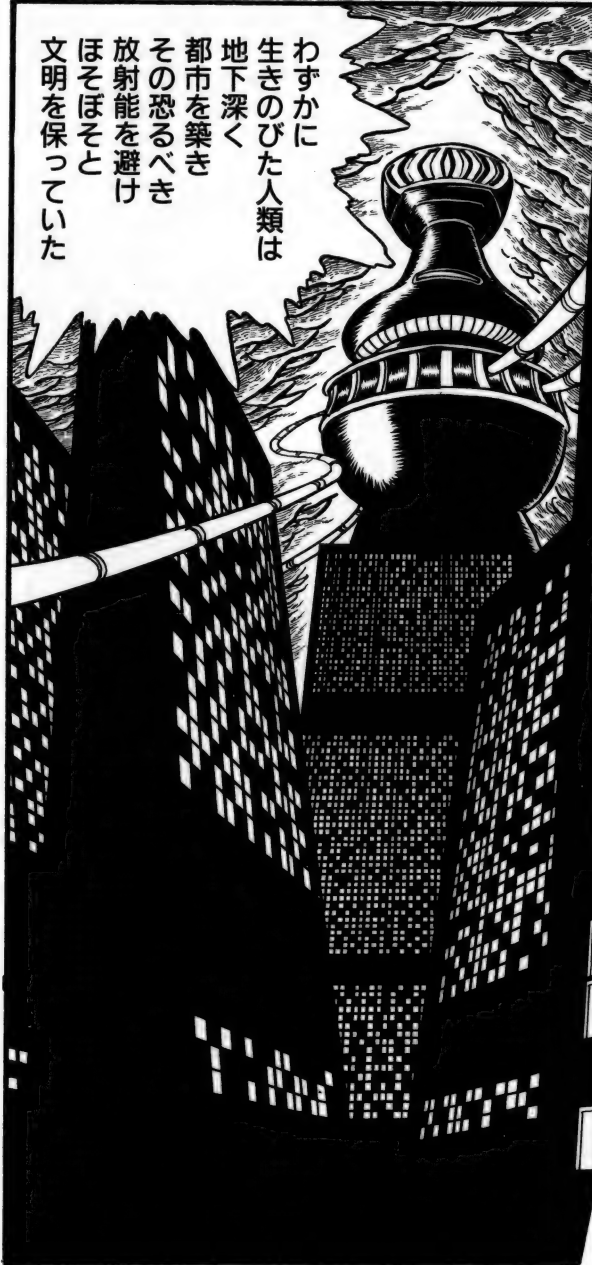




西暦3021年
22世紀初めに
起こった核戦争は
地球上の
すべての生物を
破滅においやった



わずかに
生きのびた人類は
地下深く
都市を築き
その恐るべき
放射能を避け
ほそそと
文明を保っていた



そうか
やはりだめか…

はい
この数世紀と
いうもの
放射能量は
いっこうに
減る気配を
見せません

長官
われわれの
地下都市の
放射能防壁も…

すでに
放射能に
蝕まれてきました
もう限界ですな

わたしたちは
地球を汚した…
そのむくいを
受けたのさ!!

しかし…
なぜだ…なぜ
放射能は
減少しようと
しないのだ

むくい!?

われわれは
数世紀の間…
ふたたび
地上に出る日を
ただそれだけを
待ちつづけてきたと
いうのに

そうだむくいを
受けたのだ
あのいまわしい
核戦争の……
生きとし生けるもの
すべてを
破滅においやり

われわれの祖先は
放射能の嵐を避け
ネズミの様に
この地下へ
逃げて来た……

しかし……
地上にも
わずかに
生き残った
者たちもいたのだ
植物・動物・
そして
人間が……

彼らは
数世紀にわたる
放射能の影響で
突然変異を来し
驚くべき変容を
遂げていた

彼らにとって
放射能はもはや
無害なもの
いや……今や
地球の自然界の
基盤とさえ
なっている
のだ

そして
われわれが
ふたたび見た
地上には……
まったく異質な
別な世界が
出来上がって
いた

動植物は
放射能大気を
呼吸し
放射能水を
生命の糧とする



調査の結果
もはや地表の
放射能は
消える望みが
ないと判明
しました

くわえて
わが地下都市の
放射能防御壁も
もはや
その浸入を
くい止めることが
出来ません

よって
R計画は
実行されます

われわれは
この地球を去り
ケンタウルス座
α星へ植民
することに
決定しました

なお
出発の日時など
計画の子細に
ついては…



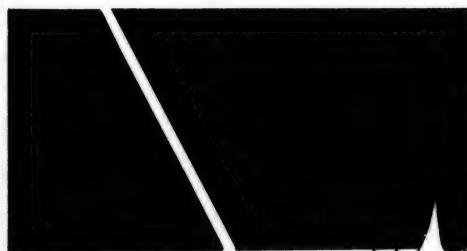
皮肉な話だ
わたしたちが
消滅することを
祈った放射能は
今や地球にとって
生命の根源と
なっている



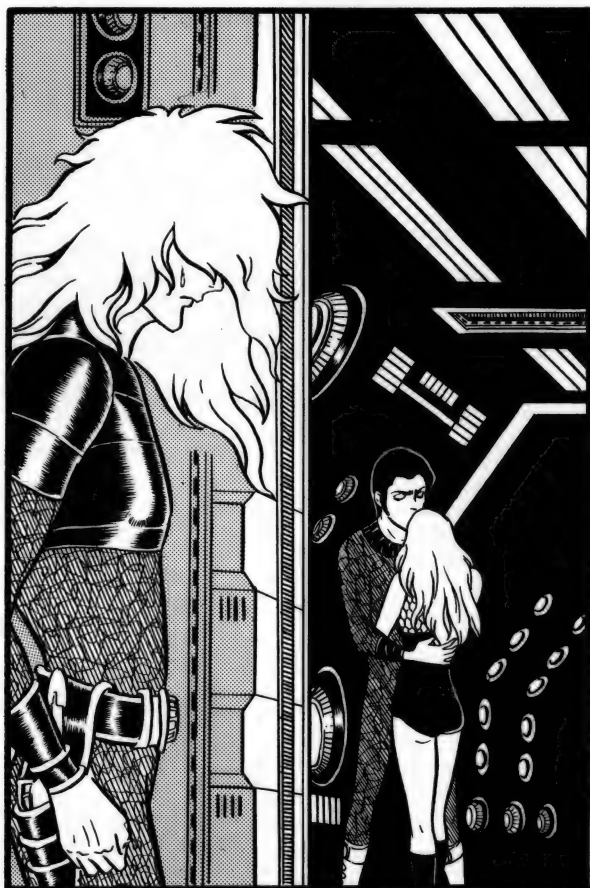
何ということだ…
自然界は
狂ってしまった!!

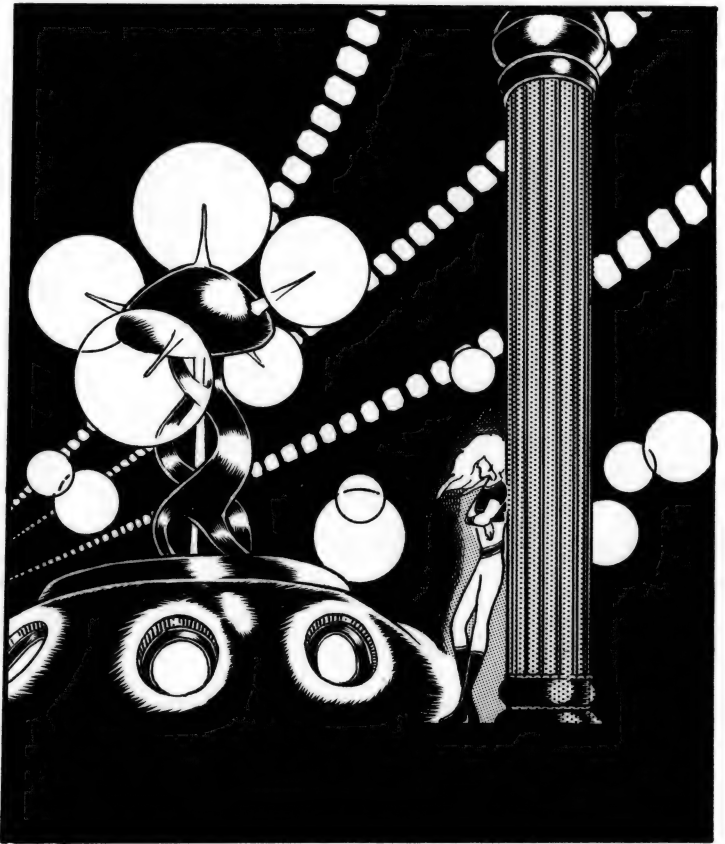
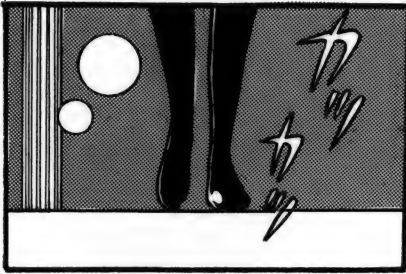


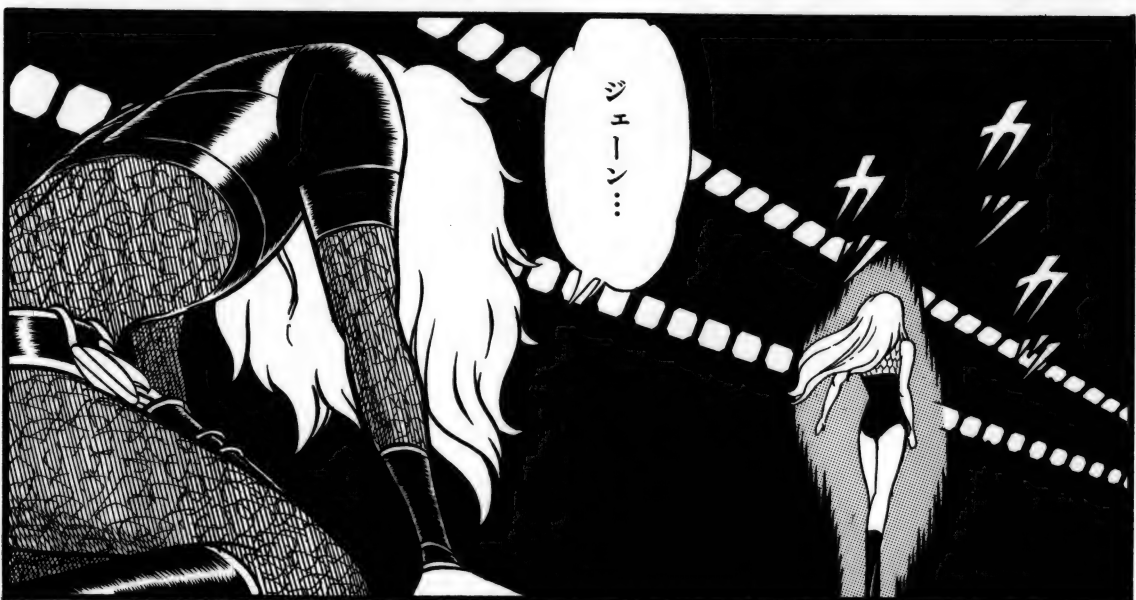
しかし
狂わしたのは
誰だったかな…



臨時ニュースを
もうしあげます!!









ブースター
始動!!
発射10秒前

9

8

7

6

5

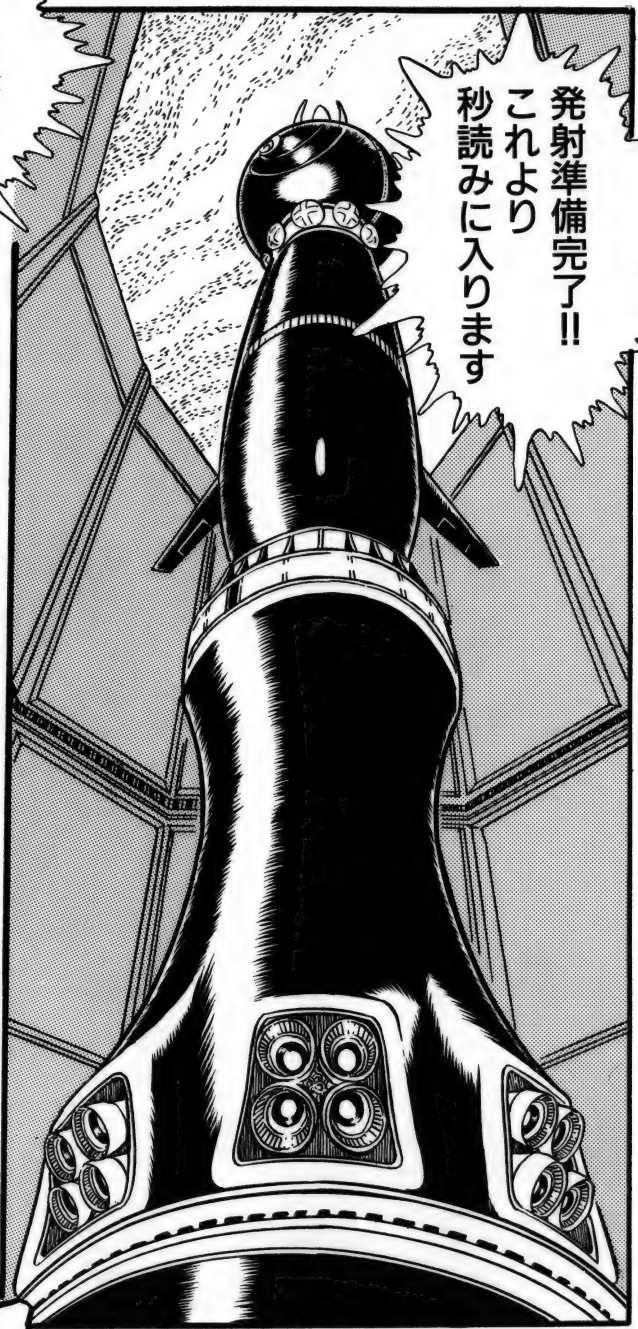
4



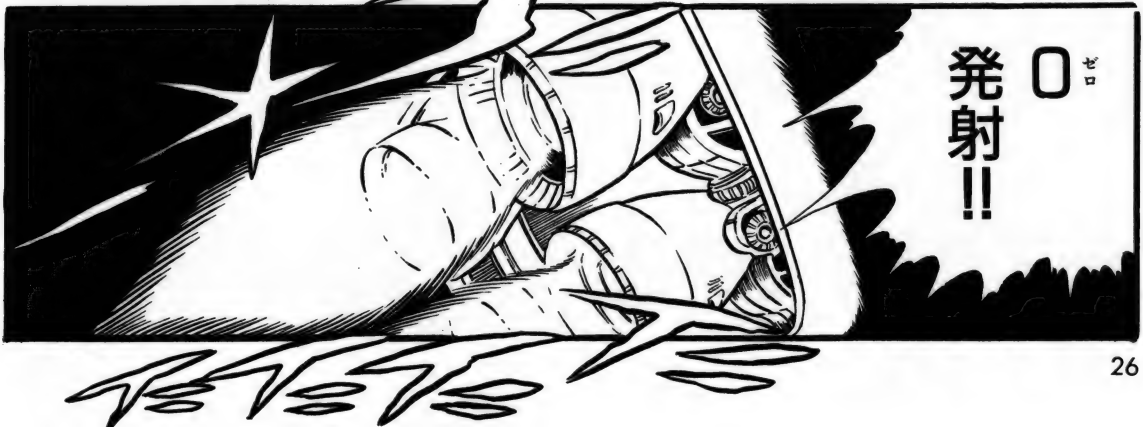
3

2

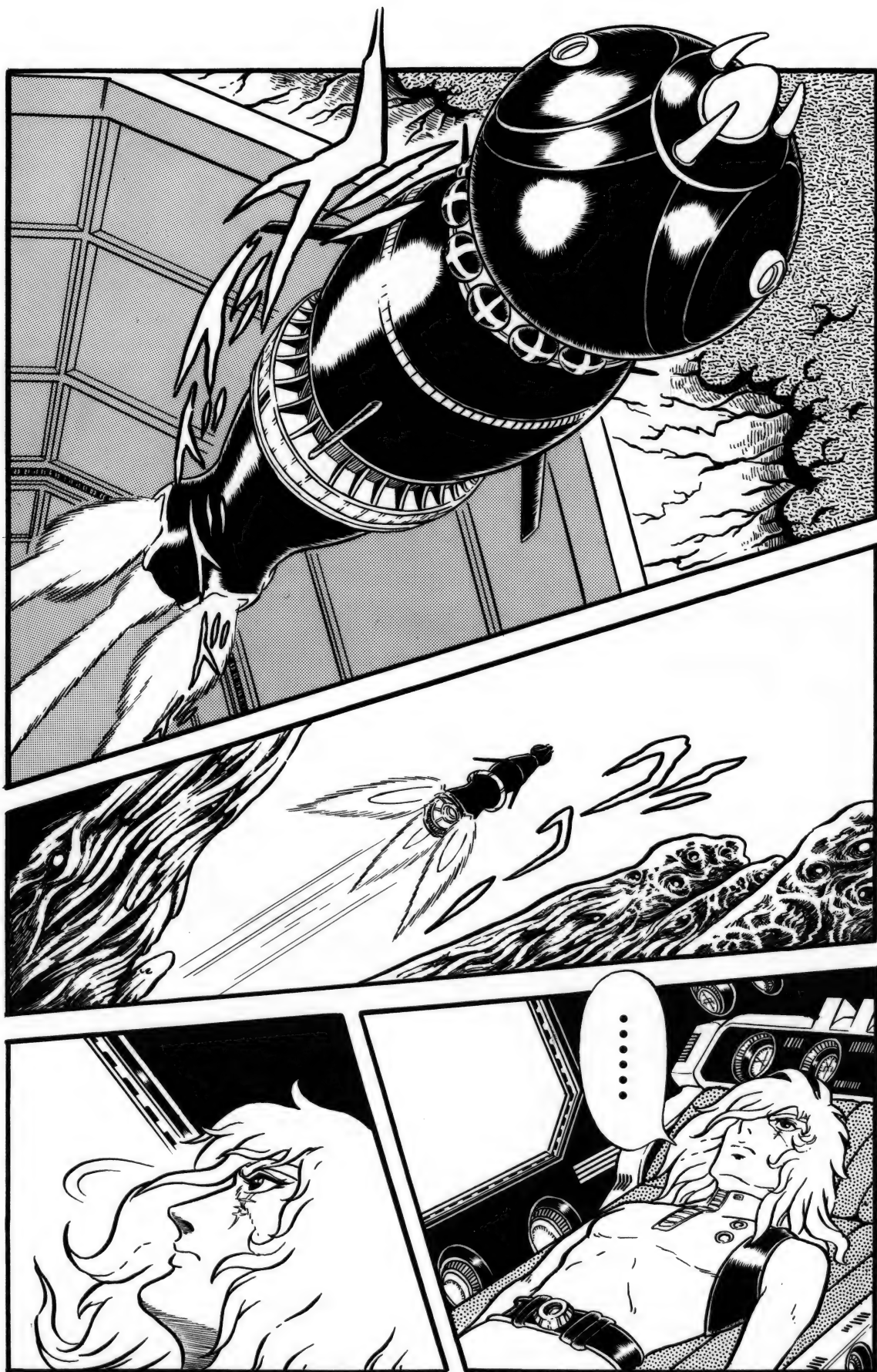
1



発射準備完了!!
これより
秒読みに入ります



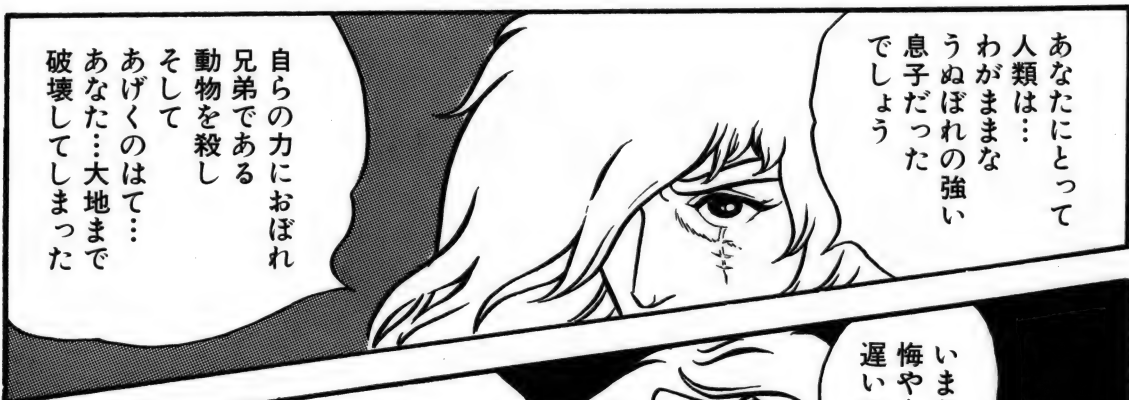
0
発射!!





美しい…
…地球…

母なる大地よ…
人間は
あなたから
生まれたことを
忘れてしまった
ようです



あなたにとって
人類は…
わがままな
うぬぼれの強い
息子だった
でしょう

自らの力におぼれ
兄弟である
動物を殺し
そして
あげくのはて…
あなた…大地まで
破壊してしまった



いまさら
悔やんでも
遅いのですね

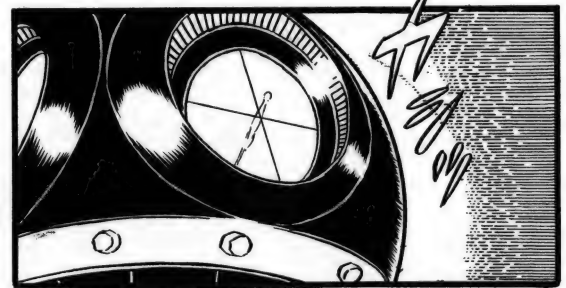
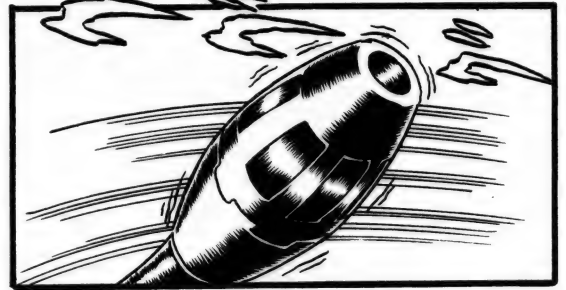
しかし
あなたの上には
これから
生きようとする
新しい生命が
あります

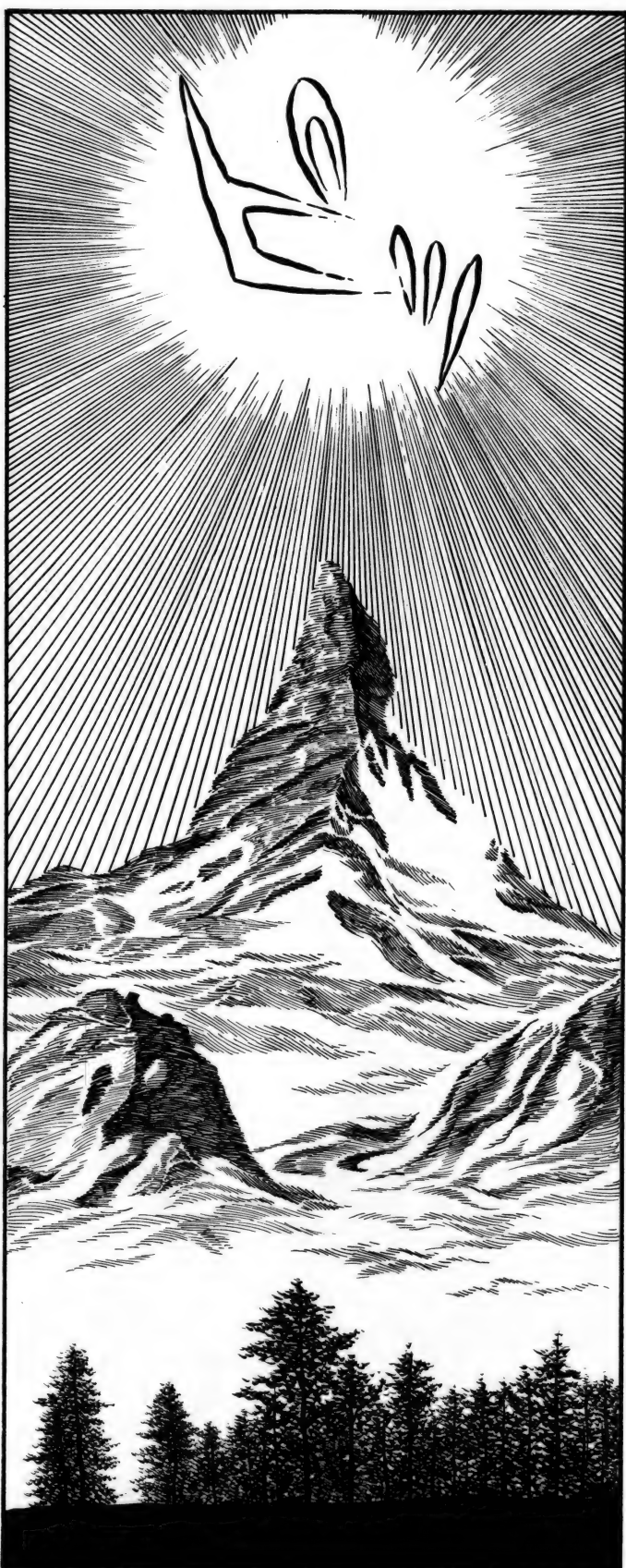
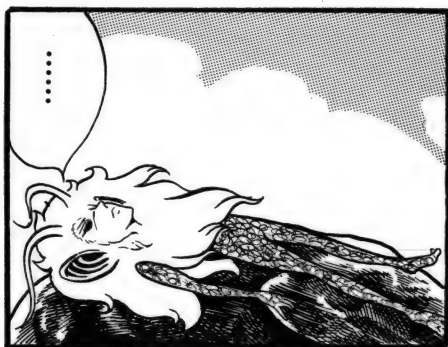
みまもって
いてやって下さい
彼ら
新人類たちを!!



…
オレはあの時
原子砲の
自動復元装置を
見つけた
しかし…
壊さなかった…

あいつの
探知機は
もうすでに
この宇宙船を
とらえて
いるだろう







-END-

平成18年7月31日発行

著者 寺沢武一

発行 メディアファクトリー

印刷・製本 大日本印刷

禁・無断転載

本書の一部、あるいはすべてを、いかなる場合においても著者の許可なくして
転載・複製・複写および電子メディア等での掲示・配信を禁じます。

お問い合わせ

コミックフラッパー編集部 Tel.03-5469-4760

MFコミックス
COBRA読者プレゼント

© 寺沢武一/メディアファクトリー